

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 20 年 2 月 22 日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 はちがめ生ごみ堆肥化プラント（堆肥化施設） はちがめエコハウス（BDF 精製機 / 菜種油搾油機）
	【事業主体】 NPO 法人 伊万里はちがめプラン
	【所在地】 佐賀県伊万里市大坪町
	【運転開始年】 平成 12 年
原材料	生ごみ / その他有機性廃棄物、廃食用油、菜種(菜の花)
生産物(種類)	・菜種油 ・生ごみ堆肥 ・バイオディーゼル燃料
利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミ堆肥をレストランやホテル、観光協会で販売 ・BDF は NPO の車両に使用、一部、会員に販売
導入目的・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみや廃食油を市民の税金で焼却処分する事のおかしさともったいなさに気付いた為 ・生ごみ堆肥を活用し、菜の花を栽培、景観を楽しみ、菜種油で料理を楽しみ、廃食用油は BDF に精製してドライブを楽しみながら CO² 発生抑制による地球温暖化防止推進を目的に導入
設備仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・エルフ A 3 型 一日 100 リットル BDF 精製 ・ハンダー油機製 HA 型、菜種 1 日 100 K ・生ごみ堆肥化プラント一式（レーン方式自走式攪拌機）
稼働状況	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥化プラント：年間を通して稼働：650 トン / 年（事業系：71 市民：270 世帯） ・BDF : 年間 1,200 ・菜種油 : 年間 4,500 K (菜種)
経済性関連データ	全体投資額：約 5,500 万円(事業団、財団、国、県補助 36%) (銀行借入れ 45%、市民債 18%)
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ・食品関連 71 事業所、市民 270 世帯の参加で生ごみ 650 トン / 年を回収(市の生ごみの 17%削減) 堆肥化し有効活用している。環境に対する市民の活動意識が推進されている。 ・菜の花栽培、菜種搾油、廃食油の燃料化等の食資源循環の実践活動を通して環境保全の啓発や環境教育を実施、CO² 発生抑制に貢献している。
運営上の課題	生ごみや廃食用油その他有機性一般廃棄物の資源化については市・町・村が政策として実施しなければ、市民運動では限界があります。 特に伊万里市は 16 年度省エネビジョン、17 年度新エネビジョン、18 年度バイオマスタウン構想等査定されていますが学校給食や市役所の食堂の生ごみは旧態依然として焼却処分です。 国、県におかれまして特段のご配慮をもってご指導を宜しくお願い致します。
備考	

